地下タンク貯蔵所構造設備明細書

事	業	T))	概	要											
タ	ンク	の	設計	置方	法	Ś	マンク	室	•	直埋	設	•	漏	れ防	止	
タ	ン ク の 種 類													「重殻タ		
	形				状						常圧・	加圧	(kPa)
	寸				法						容	量				
タ	材	質	`	板	厚											
ン	外	面	の	保	護											
ク				漏れ												
の				は漏 の概												
構		五 気		<u> </u>	管		種		別		数		þ	内径又	くは作	動圧
造 •	通															mm kPa
設	4.	安 全		装	置		種		別		数		P	乍	動	圧
備	女		. :													kPa
	可回	燃 収		蒸 設	気備	有() •		無
	液	量才	長力	卡装	置						引火防	5止装	置	有	† •	無
-	ンク: 以外:	_														
方	法			、 概	要											
泩	入	П	の	位	置						注入口 の接			有	•	無
ポ	ンプ	。設付	備(の概	要											
配					管											
電	Ş	₹	部	L Č	備											
消	اد	k	詑	ù Č	備											
I.		/ 7l v/	: 4	5C 1C	. <i>I</i> 7							電話				

備考

L この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。 2 「直埋設」とは、二重殻タンクをタンク室以外の場所に設置する方法(地下貯蔵タンクを 危険物の漏れを防止することができる構造により地盤面下に設置する方法を除く。)をいう。 3 「鋼製強化プラスチック製二重殻タンク」とは、令第13条第2項第2号イに掲げる材料で 造った地下貯蔵タンクに同項第1号ロに掲げる措置を講じたものをいう。